



6月定例会一般質問 8人が登壇 … 4P
委員会報告 … 8P
議員定数と報酬を考える … 11P
市民の声 … 12P

時空の街 御経塚遺跡

こんにちは 野々市市議会です

議会だより

2号

2014年(平成26年)

平成25年度

一般会計補正予算を承認

市民税、固定資産税、株式譲渡所得割交付金などで収入増に
財政調整基金からの繰入金5億2780万円全額を基金に戻す

市長提出の13議案を可決・承認

平成26年6月定例会を6月5日から6月23日までの14日間の日程で開会し、市長提出の平成25年度一般会計補正予算をはじめとする各会計予算6件、条例3件、請負契約1件など合計13件を可決・承認しました。また、議会推薦の農業委員会委員に2氏を決めました。

その他、意見書3件を可決し、請願3件を不採択としました。

市内28カ所に防災放送用屋外スピーカーを設置する工事請負契約を可決

議会最終日、市の防災行政無線設備整備のための請負契約締結の議決を求める議案が市長から追加提出され、全員一致で可決しました。

設備が整備されることで、国民保護情報や、緊急地震速報などを市内28カ所に設置する屋外スピーカーで一斉に市民に知らせることができるようになります。

契約金額は1億5984万円で、契約相手は北陸通信工業株式会社です。年度内に工事を完了し、来年4月に供用開始となります。

市税条例の一部改正を承認

市税条例の一部改正を賛成多数で承認しました。改正の主な内容は、法人住民税法人税割の税率をこれまでの13%から12・1%に引き下げたのをはじめ、軽4輪自動車、小型特殊自動車、原付及び2輪車の税率をそれぞれ引き上げました。

国民健康保険税条例の一部改正を承認

国民健康保険税条例の一部改正を賛成多数で承認しました。改正の主な内容は、後期高齢者支援金及び介護納付金の賦課限度額をそれぞれ2万円引き上げ、医療分を含めた賦課限度額をこれまでの77万円から81万円に引き上げました。また負担軽減世帯を拡大するため、5割軽減と2割軽減の基準額を引き上げました。

議会の豆知識

議会及び議員の仕事は？

▼住みよい郷土にすることが市民の共通した願いであり▼その市民の願いを実現するための代表として選ばれているのが議員です。▼市民の声を市政に反映させ、市政の基本的方針を決定するのが議会です。

▼市長（執行機関）は市民生活向上のための予算や施策を議会に提案し、議会で決められた方向に沿って仕事を進めていきます。▼議会は、市長が決められた仕事を間違いなく進めているか、しっかりとチェック機能を発揮するとともに、調査活動を行い政策を立案するなど、議員としての資質を高めることで市民の負託に応えなければなりません。

議会推薦の農業委員2氏を決める（全員賛成）

北川清春氏（70歳）
野々市市柳町
南勝一氏（65歳）
野々市市野代二丁目

議決結果一覧

6月議会で審査された案件

■全会一致で議決された議案

議案名	議決結果
議案第27号 専決処分（平成25年度野々市市一般会計補正予算第5号）の承認について	承認
議案第28号 専決処分（平成25年度野々市市国民健康保険特別会計補正予算第3号）の承認について	承認
議案第29号 専決処分（平成25年度野々市市後期高齢者医療特別会計補正予算第3号）の承認について	承認
議案第30号 専決処分（平成25年度野々市市介護保険特別会計補正予算第3号）の承認について	承認
議案第31号 専決処分（平成25年度野々市市下水道事業特別会計補正予算第3号）の承認について	承認
議案第34号 平成26年度野々市市一般会計補正予算（第1号）について	可決
議案第35号 公益的法人等への野々市市職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第36号 市道路線の認定について	可決
議案第37号 行政区域を越える市道路線の認定に係る承諾について	可決
議案第38号 野々市市土地開発公社定款の一部変更について	可決
議案第39号 工事請負契約の締結について	可決
議会議案第3号 地方財政の充実・強化を求める意見書	可決
議会議案第5号 野々市市農業委員会委員の推薦について	可決

■意見が分かれた議案

議案名	西本政之	中村義彦	杉林敏	金村哲夫	辻信行	川哲郎	早川彰一	尾西雅代	平野政昭	土田友雄	西田治夫	大東和美	村本通治	田中昭一	北村成人	岩見博	議決結果
議案第32号 専決処分（野々市市税条例等の一部を改正する条例）の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	議決は採決に及びません	○	○	○	○	○	○	×	承認
議案第33号 専決処分（野々市市国民健康保険条例の一部を改正する条例）の承認について	○	○	○	○	○	○	○	○	議決は採決に及びません	○	○	○	○	○	○	×	承認
議会議案第2号 身体障害者・児の補装具費支給制度の充実を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	議決は採決に及びません	×	○	○	×	○	○	○	可決
議会議案第4号 教育予算の拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	議決は採決に及びません	×	○	○	○	○	○	○	可決
請願第3号 「消費税増税に反対する意見書」の提出を求める請願書	×	×	×	×	×	×	×	×	議決は採決に及びません	×	×	×	×	×	×	○	不採択
請願第4号 「海外で戦争する国」にする集団的自衛権の行使容認に反対する意見書を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	議決は採決に及びません	×	×	×	×	×	×	○	不採択
請願第5号 「農政改革」を見直し、食料自給率の向上を最優先した農政を求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	議決は採決に及びません	×	×	×	×	×	×	○	不採択

○=賛成、×=反対

各委員会及び一部事務組合議会議員名簿

議長 平野 政昭

副議長 岩見 博

常任委員会	総務常任委員会	委員長 金村哲夫 副委員長 西尾雅代	委員 西中土 本村田 政義友 之彦雄 西田岩 田中見 治昭 夫一博
	健康福祉常任委員会	委員長 杉林敏一 副委員長 早川彰一	委員 金辻川 村哲信 夫行郎 大東和美 和成 博
	産業建設常任委員会	委員長 西本政之 副委員長 西川哲郎	委員 杉尾北 林西村 雅成 敏代人 岩見 博
	教育文化常任委員会	委員長 中村義彦 副委員長 辻信行	委員 早土西 川田友治 一雄夫 大東和美 和昭 夫一

議会運営委員会	委員長 北村成人 副委員長 田中昭一	委員 中村金 村義彦 彦夫 早川彰一 川田治 夫一
---------	-----------------------	---------------------------

議会選出監査委員	西田治夫
----------	------

一部事務組合	白山石川医療企業団議会議員	副議長 田中昭一・尾西雅代（議長は白山市より選出） （事務局：松任石川中央病院内 076-275-0070）
	白山野々市広域事務組合議会議員	副議長 土田友雄・早川彰一・辻信行（議長は白山市より選出） （事務局：白山野々市広域消防本部内 076-274-9585）
	石川県後期高齢者医療広域連合議会議員	平野政昭 （事務局：石川県幸町庁舎内 076-223-0140）
	手取川水防事務組合議会議員	平野政昭 （事務局：白山市役所 市民生活部防災安全課内 076-274-9537）



川 哲郎 議員

Q 『のいちスタイル』の確立・ブランド化を目指す

A 現状の取り組みで充分と考える。

質問 野々市市だからこそ実現可能な将来を見据えた長期的展望をもって取り組むべき夢の施策を提案する。

市長 ののいちスタイルという教育システム・カリキュラムの確立。何も商品や特産物だけがブランドではなく、教育や理念・精神を、ののいちスタイルとしても不思議ではないと考えるが、市の見解はどうか。

市長 市内小中学校における食育事業は、文部科学省学習指導要領に基づき作成した野々市教育課程の基準において規定し、さらに地域の特性を踏まえて編成された各学校の教育課程に基づき実施している。

質問 特別授業ではなく、小中学校9年間の義務教育の中で「カリキュラムを組み食育を柱とし普段行われている授業・さまざまな科目とリンクさせることで内容に厚みと幅を持たせ継続的なつながりを持たせることで年間を通じ食育を行うものである。各学年のレベルに合わせ健康・栄養・習慣・知識等についてどう学ばせるのか。

市長 栄養教諭と養護教諭が連携し各学年に応じた内容で朝ご飯の重要性や生活習慣について指導を行う元気アップ教室の実施や、年2回の元気アップ週間ではアンケートを実施し、家庭での生活習慣を見直す機会の提供も行っている。

市長 生徒自らが地場産物を使った献立づくりに取り組み、実際に給食として提供するなど食に対する関心を高め、日ごろの食習慣の重要性について理解を深めている。

質問 小学1年生において、好き嫌いをしない、食べ物を残さない、もったいないという基本的理念を学び生産者や調理をしてくれた方などへの感謝をする心を育む。あわせて善の持ち方や、行儀、礼儀作法を学ぶなど、野々市には恵まれた環境（田んぼ・畑・指導者等）があることを知ることは素晴らしい機会であり決して無駄にはならないのではないか。

市長 生徒自らが地場産物を使った献立づくりに取り組み、実際に給食として提供するなど食に対する関心を高め、日ごろの食習慣の重要性について理解を深めている。



早川 彰一 議員

Q ふるさと納税の特典に野々市特産品を

A 先進的な自治体や近隣を参考にしたい

質問 納税者が手軽に自分の想いで寄付することができ、税制上の優遇もあるふるさと納税制度について、市の取り組みはどうか。

市長 市のホームページでふるさと納税の手続きや税法上のメリット、市としての活用方法などを詳しく掲載しており、昨年度は4名55万円の寄付を頂いた。

質問 メリットとして確定申告による寄付金控除の適用が受けられるとともに、地域の特産品がもらえるなど各自治体でさまざまな工夫がされているが、野々市市の場合はどういう特典があるのか。

市長 現在のところ10万円以上に感謝状を贈呈している。今後は先進的な自治体を参考にしていきたい。

質問 北陸新幹線金沢開業による利用者について、県外観光客だけでなく多くの地元民の利用にも目を向けなければならぬ。多くの需要を見込む場合、金沢駅までの交通機関をスムーズに乗り継ぐことが重要と考える。早朝や夜遅い時間帯にのっティやのんキーが利用できれば利用が増えるのではないかと事業者や関係機関への働き掛けにより実現できないか。

市長 状況の変化に応じて協議会で議論を深め、コミュニティバスの活用や、運行事業者等も含めて対応していきたい。

質問 白山町の大型店は建設が進み概要が見えてきた。食品部門は24時間営業との情報もある。絶え間ない自動車や人の出入りに不安を感じるが、白山保育園

市長 現状ではおおむね二十年の活動で地域功労賞表彰の対象となり、地域から順に受賞されている。個人賞では五年以上の推薦基準となっているが、受賞された方はいない。



白山車両基地で調整中の北陸新幹線 (中野富茂治氏撮影)

Q 石川県立大学周辺のまちづくりは

A 来年9月の土地区画整理組合設立許可を目指す

質問 中林地区と蓮花寺・田尻・堀内地区の土地区画整理事業の進展を踏まえた組合設立までのスケジュールを問う。

市長 年内に農業振興地域の除外を経て、年度末までに市街化区域の編入と区画整理区域、都市計画の決定の手続きを行い、来年9月、区画整理組合の設立許可を目指している。

質問 新市街地での市営墓地計画について、地元意見を反映させることができないか。

市民生活部長 有識者や地元関係者らで構成する検討委員会を設置して、具体策を協議し、今年度内に基本構想を示したい。

質問 地域の活性化と新しいまちづくりのため石川県立大学周辺に多機能型ホ



金村 哲夫 議員

テルの誘致の考えを問う。一区切りとしてできないか。

市長 ホテルの誘致は念願であり、全国に展開している複数の事業者に聞き取り調査も行ってきた。北陸新幹線開業、大型商業施設の進出で状況は変化しており、粘り強く誘致に取り組む。

防災行政無線屋外スピーカーの設置について

質問 防災行政無線屋外スピーカー二十八カ所の多目的使用と点検の仕方を問う。

市民生活部長 PM2.5に関する注意喚起情報なども発表し、毎日の点検も兼ねて一日一回、夕方にチャイムまたは音楽を流したい。

質問 ボランティア活動「見守り隊」の顕彰を五年



JR野々市駅前バス停ののっティ・のんキー

質問 市公用車、のっティ、のんキーへのドライブレコーダー装備により走る防犯カメラとしての犯罪抑止、迷子、行方不明者発見保護等、市民生活の安心、安全の向上を図れ。

市長 市公用車へ、試験的に導入を行い、のっティへも車両更新時に検討したい。



市役所前バス停ののんキー

質問 人口増に伴う小中学校生徒数の偏りへの協議機関連設を行えばどうか。

教育長 野々市市は、流動人口が多く、当面は市教育委員会での協議による検討を行いたい。

質問 小学校から中学校へのスムーズな移行に効果が見られる小中一貫教育に対する市教育委員会の考え方を問う。

教育長 今後、文科省の動向も注視しながら当面は、小中一貫教育というより小中連携を推し進め強化を図りたい。



石川県立大学周辺

ボランティア活動の顕彰を

「見守り隊」の顕彰を五年



大東 和美 議員

Q マイナンバー制度のメリットは 社会保障・税制度の利便性、 行政事務の効率化が期待できる

質問 制度の周知や不安要素への対処法はどのようなのか。

市長 国が今年10月に設置した段階で広報誌やホームページでお知らせしたい。インターネットの公的機関端末で利用しやすく、プライバシーに配慮したものを準備したい。

質問 自治体受け入れ準備及び職員研修状況を伺う。

市長 国において法整備中。職員研修は昨年10月に1回目を、今年7月に2回目を予定している。

質問 制度導入にあたり情報の保護に関する課題は。

市長 ICチップにはプライバシーは入れない仕組みであり個人情報保護制度に守られ、目的以外の利用は制限される。

その他の質問
▼子育て支援、保育料の無料化
▼土曜日の教育活動をめぐる動向について
▼地域包括ケアシステム構築について
詳細は議会ホームページにて参照してください。

その他の質問

質問 PFI事業、民間活用など財政基盤を伺う。

教育長 国土交通省の交付金を活用し施設整備、管理運営を民間活用も含めて検討したい。

質問 建設前の段階から専任の館長を配置できないか。

教育長 できるだけ早い段階で配置できるように努力したい。

質問 司書の専門性を活かす工夫をできないか。

教育長 図書館司書の資格を有する職員をできるだけ多く配置し、レファレンスサービスなど学びの拠点にふさわしい質の高いサービスを目指したい。



市立図書館

*マイナンバー制度とは、2018年1月からはじまる社会保障・税番号制のこと
*PFI事業とは、民間資金の活用により、公共事業に、民間企業が持っているノウハウを設計・建設・管理・運営まで一括で発注する委託事業のこと
*レファレンスサービスとは、図書館利用者が学習・研究・調査を目的として必要な情報資料などを求めた際助ける業務

Q 保育料の軽減条件の緩和を求める

A 子ども子育て会議の意見も踏まえて検討したい

質問 野々市市には、子どもが3人いる世帯に対して第2子の保育料を半額、第3子の保育料を無料とする軽減制度がある。しかし、この制度には「第1子が満5才まで」という条件がある。つまり第1子が小学校にあがると第2子の保育料が半額から満額、第3子が無料から半額に上がる。子育て世代の定住促進のためにも、第1子の年齢条件を例えば高等学校卒業まで等と緩和すべきと考えるがいかがか。

目指すこととし、各部署へ計画的な交代を行うよう指導した。

質問 自治体は人件費抑制のために正規職員を削減してきた。そのため、多くの臨時・非常勤を雇用している。正規職員と同じ業務をしている熟練した臨時・非常勤職員が、今年3月で非常勤職員が、今年3月で大勢契約を打ち切られた。住民サービス低下につながる雇用止め理由を問う。

総務部長 非常勤職員等取扱要領第4条第2項において5年を超えて任期の更新ができない規定があるにもかかわらず、スムーズな業務遂行を優先した結果、5年を超えて任用された職員が複数いた。このため平成24年度から適切な運用を

質問 臨時・非常勤職員の補充は完了しているか。

総務部長 新たな法人保育園の開設に伴い中央保育園の規模が縮小されたことにより非常勤職員数が減少している。ただし、応募者数が下回ったことなどから昨年度より人材派遣会社を活用し確保している。

質問 住民サービスを低下させないために、補充困難な職種・部署には正規職員を増員せよ。

総務部長 必要な職員数の確保はできている。国の指導もあり、むやみに増員はできない。



西本 政之 議員

子育て会議の意見も踏まえて検討したい。

質問 市立図書館の臨時・非常勤職員について

質問 自治体は人件費抑制のために正規職員を削減してきた。そのため、多くの臨時・非常勤を雇用している。正規職員と同じ業務をしている熟練した臨時・非常勤職員が、今年3月で非常勤職員が、今年3月で大勢契約を打ち切られた。住民サービスを低下させる雇用止め理由を問う。

総務部長 非常勤職員等取扱要領第4条第2項において5年を超えて任期の更新ができない規定があるにもかかわらず、スムーズな業務遂行を優先した結果、5年を超えて任用された職員が複数いた。このため平成24年度から適切な運用を

質問 臨時・非常勤職員の補充は完了しているか。

総務部長 新たな法人保育園の開設に伴い中央保育園の規模が縮小されたことにより非常勤職員数が減少している。ただし、応募者数が下回ったことなどから昨年度より人材派遣会社を活用し確保している。

質問 住民サービスを低下させないために、補充困難な職種・部署には正規職員を増員せよ。

総務部長 必要な職員数の確保はできている。国の指導もあり、むやみに増員はできない。



岩見 博 議員

Q 子どもの医療費病院窓口無料化 実施の決断を

A 申請することで共助の精神が展開 されることを理解してほしい

質問 輪島市長が窓口無料化実施を表明し、加賀市長もあらためて実施の意向を示している。白山市も高校卒業までの拡大を決定するなど、拡充に前向き動きが進み、市子ども子育て会議においても手続きの簡素化を求める意見が出されている。窓口無料化実施の決断を。

市長 申請することで共助の精神が展開されていく。このことをサービスを受ける方々にも理解していただきたい。財政的にも市民にとって好ましいことではない。

質問 子ども子育て支援新制度の事前説明会を

質問 新制度では、保育認定の可否をはじめ、保育

質問 本市の要支援者が258人中65人、約25%の人が認知症で、次期事業計画で保険給付から外され

質問 本市の要支援者が258人中65人、約25%の人が認知症で、次期事業計画で保険給付から外され

質問 本市の要支援者が258人中65人、約25%の人が認知症で、次期事業計画で保険給付から外され

質問 本市の要支援者が258人中65人、約25%の人が認知症で、次期事業計画で保険給付から外され

質問 本市の要支援者が258人中65人、約25%の人が認知症で、次期事業計画で保険給付から外され

市長 法改正後もサービスの低下を招かないよう知恵を絞り、費用の限度内で対応していきたい。

質問 要支援者が介護保険給付から除外され、貧弱なサービスしか利用できなくなつた上に、保険料負担と利用料負担、一部負担まで求められてはたまらない。保険料は引き上げるな。

市長 保険給付費が増加の傾向にあることから、引き上げはやむを得ない。

市長 広報紙、保育所を通じて周知したい。さらにどういった方法で細かく周知していけるか検討したい。

市長 広報紙、保育所を通じて周知したい。さらにどういった方法で細かく周知していけるか検討したい。

市長 広報紙、保育所を通じて周知したい。さらにどういった方法で細かく周知していけるか検討したい。

市長 広報紙、保育所を通じて周知したい。さらにどういった方法で細かく周知していけるか検討したい。

市長 広報紙、保育所を通じて周知したい。さらにどういった方法で細かく周知していけるか検討したい。

市長 広報紙、保育所を通じて周知したい。さらにどういった方法で細かく周知していけるか検討したい。



村本 道治 議員

Q 小学校の児童増加に対する 対策と今後の方針を聞く

A 新たな教室等が必要になればその ときの状況を踏まえて対応したい

質問 人口増加が続くわが市の適正規模の生徒数の現状は。また、4地区に5つの小学校が配置されている現状を解消するために小中一貫校の計画など今後の方針は。

教育長 児童生徒の増加に対して、これまで増築等により対応してきたが今後新たな教室等が必要になれば、その時の状況を踏まえて適切に対応していきたい。

質問 人口増加が続くわが市の適正規模の生徒数の現状は。また、4地区に5つの小学校が配置されている現状を解消するために小中一貫校の計画など今後の方針は。

教育長 児童生徒の増加に対して、これまで増築等により対応してきたが今後新たな教室等が必要になれば、その時の状況を踏まえて適切に対応していきたい。

質問 人口増加が続くわが市の適正規模の生徒数の現状は。また、4地区に5つの小学校が配置されている現状を解消するために小中一貫校の計画など今後の方針は。

教育長 児童生徒の増加に対して、これまで増築等により対応してきたが今後新たな教室等が必要になれば、その時の状況を踏まえて適切に対応していきたい。

質問 人口増加が続くわが市の適正規模の生徒数の現状は。また、4地区に5つの小学校が配置されている現状を解消するために小中一貫校の計画など今後の方針は。

教育長 児童生徒の増加に対して、これまで増築等により対応してきたが今後新たな教室等が必要になれば、その時の状況を踏まえて適切に対応していきたい。

質問 人口増加が続くわが市の適正規模の生徒数の現状は。また、4地区に5つの小学校が配置されている現状を解消するために小中一貫校の計画など今後の方針は。

組んでいくことが望ましい。うとしており、今後の国の動向を注視したい。

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

うとしており、今後の国の動向を注視したい。

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を

質問 これからの長期的教育ビジョンとして土曜授業や小学校での英語授業の充実を



総務常任委員会

委員会審査

のっティ・のんキーの乗客数増える

▼企画課から、平成25年度コミュニティバス「のっティ」の乗客数が昨年10月西部ルートを増便により前年より8502人多い17万8321人、シャトルバス「のんキー」の乗客数も前年より739人多い1万2849人になったとの報告がありました。

のっティルートの変更を検討

▼あすなる団地に住む高齢者から「不便」との声がある、のっティのバス停を団地内に移動できないかとの質問があり、企画課長から次期ダイヤ改正時に具体案を検討したいとの説明がありました。

▼環境安全課から金沢工大前県道交差点のスムーズな交通の流れと歩行者の安全を守るため、市内初の歩行者・自動車分離式信号と周辺道路侵入禁止の周知徹底を行ったとの報告がありました。

▼「野々市市市民協働のまちづくり市民会議」の委員と、市役所職員による「市民協働ワーキンググループ」がまとめた冊子「市民協働によるまちづくり推進指針」の説明を受けました。

ポンプ車操法の部で第2分団が優勝——県大会に出場

▼6月29日（日）に開催された第10回白山野々市消防訓練大会で第2分団が優勝し、7月19日（土）開催の県大会に代表として出場しました。



白山野々市消防訓練大会の様子

▼福祉総務課より、消費税の引き上げに伴う低所得者・子育て世代の負担の影響を緩和するための「臨時福祉給付金等」について報告がありました。

委員会審査

▼健康推進課より、国の「二十一世紀における第二次国民健康づくり」を受けて、「野々市健康推進計画（第二次）」を策定したとの報告がありました。

基本的な方向及び目標項目

- (1) 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- (2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底
- (3) 社会生活を営むために必要な機能の維持及び向上
- (4) 健康を支え、守るための社会環境の整備
- (5) 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、喫煙、飲酒及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善

▼「平成26年度ののいちいきいき健康診査」について説明がありました。集団健診は保健センターにて5月～7月、医療機関健診は7月～9月に実施。女性の子宮頸がん検診は20歳以上・乳がんは40歳以上過去5年間で未受診の方が対象となります。

▼介護長寿課より介護保険事業や高齢者福祉施設に対して市民の皆様からの意見を聞く機会として、介護保険事業や高齢者福祉施設等について事業所側の意見を聞く座談会を開催するとの報告がありました。

▼国・県からの補助事業として百々鶴荘にスプリングラーが設置されることになりました。

▼25年度中の完成予定から大幅に遅れている小規模多機能型居宅介護施設（新庄三丁目地内）は、来年4月に開業予定であるとの説明がありました。

健康福祉常任委員会 行政視察

先進地に学ぶ

総務常任委員会では、7月1日（火）から3日（木）にかけて、視察を行いました。

福岡市消防局

救命措置の取組を学ぶ

▼福岡市では、救命率の向上を図るため、救急車が到着するまでの間、市民による応急手当ができるよう、毎年約800回の救命講習が実施され、平成6年度から25年度までに44万人の市民が講習を受けています。あわせて、通報者に対し、胸骨圧迫のみの応急手当をお願ひして、その結果、応急手当が施された事例が7割を超えています。その成果もあり、心肺機能停止傷病者の一か月後の生存率は全国平均11・4%に対し32・7%に、社会復帰率も全国平均7・2%に対し22・8%と約3倍となっています。



福岡市消防局にて

先進地に学ぶ

健康福祉常任委員会では、7月7日（月）から9日（水）にかけて、視察を行いました。

視察場所及び視察事項

▼高齢者とこどもの総合施設「グランチャ東雲」（東京都江東区）運営は公益財団法人東京YMCAを指定管理者にして、地域に根ざした高齢者の「健康づくり」「生きがいづくり」、子どもたちの「健全やかな成長」を担う施設として、高齢者や子どもたちが世代を超えて集い、憩い、交流できる、「交流フロア」をもたせているところが特徴です。

▼コミュニティカフェ「メサ・グランデ」（神奈川県川崎市）NPO法人ぐらす・かわさきが、地域交流とコミュニティ・ビジネスを育てる事業の一環で、昼は地域の人と人の出会いのカフェ、夜間は飲食店の起業を目指す人に練習の場を提供し、地域の人たちが出会うための仕掛けとして、お店前のテントで地元の季節野菜の販売をしています。

天草市立天草アーカイブズ

行政・地域資料保存の取組

▼アーカイブズとは、映像記録や電子記録も含めた「記録物」を永久保存して一般公開する施設を意味しています。天草アーカイブズの特徴は市役所での保存年限が満了した公文書の全量を移管受け入れし、歴史的公文書として永久保存するものと廃棄するものの評価選別作業を行っている点です。

▼公文書を徹底して保管する取り組みを進める熊本県天草市では、市の行政文書や行政刊行物の保管や活用、天草に関する地域資料と記録のうち、歴史文化資源などを収集、整理、保存し、広く市民と行政の活用役に役立っています。

▼天草アーカイブズの事務室では、17名の職員が作業に従事し、自治体の行政文書を整理する「行政資料班」と地域の古文書収集や保存を進める「地域資料班」に分かれて日常的な業務に取り組んでいます。

併設施設「東大井地域密着型多機能ホームと品川保育園」（東京都品川区）

▼病院跡地に建設され、1階は区立品川保育園、2・3階は認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、小規模多機能型居宅介護、4階は園庭、高齢者入浴設備他で階層別構成された、高齢者施設と保育園が併設された施設です。屋上の共有園庭と入浴施設サロンは内外が見え、お互いに声掛けができ、園児と高齢者が自然と交流できる工夫がされています。

葛飾区役所「先進的介護予防事業」（東京都葛飾区）

運動習慣推進「ラチナ・フィットネス事業」は区内のフィットネスクラブとの協定により、65歳以上の高齢者が自発的に運動に取り組む習慣化を推進しています。男性の参加者がとても多い事業で、参加者は体力測定により、体重・体脂肪の減少や骨格筋量の増加の効果がみられています。



東京都品川区にて

委員会審査

「扇が丘中央線」 拡幅工事は今年度完成

▼6月18日、当委員会が現地視察を行った「扇が丘中央線」は、金沢工業大学や各種商業店舗を沿線に有する県道「窪野々市線」と「高尾堀内線」を結ぶ重要な幹線道路です。「扇が丘中央線」が拡幅整備されることにより、渋滞緩和と交通の円滑化につながるとともに、通学生徒や歩行者も安全で快適な道路環境になるとみこまれます。



扇が丘 中央線 現地視察の様子

工大前通りの 信号機を移設予定

▼扇が丘中央線と窪野々市線との交差点に新たに設置しようとする信号機は、この拡張工事により交通量の少なくなる他の交差点からの移設という考え方を含めて検討したいとの説明を受けた。

▼その他、平成26年度の水防実施計画の報告や、「野々市市中小企業振興基本条例」のこれまでの実績の報告を受けました。

▼議会側の委員から東京銀座に出来る石川県のアンテナショップについて、野々市市の取り組みと企業等への対応を問う質問がありました。これに関しては、まだまだ議論が必要で検討の余地があると委員長として感じました。

委員会審査 議員定数と報酬について 議論しています

市特別職報酬等審議会から粟市長に「特別職の報酬等について」答申がありました。答申の内容は、「活動費用をより効率的に見直し、支出について削減を検討されるよう、また、市議会議員活動については、これを広く市民に周知する努力を行い、議員定数については、今後も含めて適正な人数を検討されたい」というものです。これを受けて、議会運営委員会（各会派の代表者と、一人会派はオブザーバー出席）で、議員定数と報酬の在り方について研修し、議論しています。

これまでの議論の内容を簡潔に報告します。

議員定数と議員報酬をリンクさせない

これまでですべての会派が確認したのは、議員定数と議員報酬をリンクさせないということです。リンクさせると、報酬引き上げの

度に定数を減らさなければなりません。それは、結果として市民の少数意見を排除することになり、多様な市民の声を議会をとおして行政に反映する「住民自治」という議会本来の使命に反することになるからです。

今後、これを基本に、本市の人口規模（6月1日現在の石川県推計人口約5万5千人）や財政力、類似自治体等を参考にして議員定数と報酬について検討していきたいと思えます。

9月定例会の日程が決まりました。

- ▼期間 9月4日（木）～26日（金）23日間
- ▼開会 9月4日（木）
- ▼一般質問 11日（木）、12日（金）
- ▼予算特別委員会 16日（火）
- ▼各常任委員会及び分科会 17日（水）、18日（木）
- ▼決算特別委員会 19日（金）
- ▼閉会 26日（金）

教育文化常任委員会

委員会審査

当常任委員会における5月、6月の会議の主な内容を報告します。

今年度のいじめ対策

▼学校いじめ防止基本方針を策定し、生徒指導に重点を置き対応力向上、組織的対応のシステム化、いじめ対応アドバイザーの派遣、いじめの把握、スクールカウンセラーの配置及び中学校教育相談員の派遣、小中学校生徒主事会議を開催し対策を講ずる旨の教育委員会から報告がありました。

公民館図書館の活性化へ 図書館ボランティアを育成

▼市内地区公民館の図書室の利用が伸び悩んでおり各図書室に配置する図書館ボランティアを育成し、活用するための養成講座を6月から7月まで実施する説明がありました。

小学校給食センターを視察

▼5月の委員会では、小学校給食センターがほぼ完成したのに伴い、施設の視察を行いました。安心、安全に利用でき地域に親しまれる省エネ、ライフサイクルコストの削減、衛生面での配慮が行き届いた大変すばらしい施設でした。

なお、同施設は二学期から稼働します。



給食センター内の様子

白山野々市広域事務組合議会

行政視察報告

7月16日から17日にかけて愛知県北名古屋市、豊川市を視察研修しました。

北名古屋市のし尿及び浄化槽汚泥処理施設「鴨田エコパーク」と、豊川市の既存斎場施設の老朽化及び火葬需要の増加に対応するため、建て替えたPFI事業について視察研修を行ってきました。



鴨田エコパーク（愛知県北名古屋市）

広域事務組合議会 第2回臨時会

6月27日、広域事務組合議会第1回臨時会が開かれました。焼却ごみの最終処分場の新設に関する質問に対して、当初計画から用地の変更があるため完成年度が遅れるとの答弁でした。

白山石川医療企業団議会

白山石川医療企業団公立松任石川中央病院は、平成26～27年度の2か年で、第五次増改築工事を施工します。

この工事は、超少子高齢社会となる2025年を見据え、医療・介護・予防を一体化した地域包括ケアシステムの構築に向け行うもので、地域密着型介護老人福祉施設29床、短期入所生活介護施設21床、並びに56人が居住可能なサービス付き高齢者向け住宅を備える福祉施設棟と、リハビリ棟を整備します。

さらに、患者図書室や交流サロンなどの患者アメニティの充実、手術室の拡張を計画しています。



福祉施設棟 完成予想図



議会だよりに 望むこと 大森 克成さん (大平寺二丁目)

このたび野々市市議会だよりが創刊され、市議会の活動がより広く市民に伝わることに期待が持てます。

表紙のデザインも落ち着いていて、まさに「ののいちもよう」そのもので好感が持てます。

6月議会における議員の方々の一般質問の掲載は、市の広報と一味違

う工夫を望みたいものです。一般質問は議員の方々が日頃地域で活動し、地域の要望を市行政に問いかけ

るもっとも大切な場でもあります。議場での議員の方々の熱い思いが伝わってくるような紙面づくりを期待します。更に、議会だより第2号からは私たちが読みたくなるような紙面構成にしてもらいたいと思います。

例えば、北陸新幹線県の来年度開業に向けて、石川県や北陸、中部といった広域の課題における市政への市議会の「主張」も期待しています。

「住みよいまち野々市市」をけん引する野々市市議会に一市民として大いに期待を寄せています。



新しくなった 高橋川周辺の景色

宮崎 進さん(新庄三丁目)



私が平成元年8月に新庄三丁目に住居を構えたときの高橋川は川幅が狭く大雨が降ったときは、赤い濁り水が川から溢れることもあった。

現在は川幅も広がって、赤く濁った水は石垣の下のほうを流れている。またその川沿いの道路も整備されて広々と美しくなり宮之浦橋からの見晴らしの良さは、野々市市の新名所になるかと思われるほどだ。川幅と道路が広がったので、それを合わせた広さがそのまま空の広さとなって晴れた日の宮之浦橋からの眺めは素晴らしくて、広々とした青空の中に身を舞い上がらせたい気分

神社の青々として丸い形の大樺や、四十万や白山の遠くの山々を眺めながらつくづく良い環境になったものだと感じている。この景色をこれまでに造り上げられた関係ある多くの人々の思いと努力に感謝しています。これから後は、道端に少し残っている細長い余り地を花で飾り、ベンチを置いて近所の人と井戸端会議などができたらいいなあと夢見ております。

にさせてくれる。
私は「宮之浦橋」と加賀産業道路の「殿田橋」とを回るコースを散歩しているがその途中に見える菅原

議員のみなさんには、野々市市がもっと住みよい街になるようがんばってくれることを大いに期待しています。



今月号は、御経塚遺跡に復元されている竪穴式住居。
私たちは現代人が「時空を越えて」古代を想像し、ロマンを感じる事ができる場所です。今も昔も「住みよいまちづくり」は終わることはありません。

表紙説明

編集、写真撮影などすべてが新鮮で慣れないことの連続です。でも伝えたい。次の号はもう一歩前進をと決意しています。

○大東和美

編集後記

○早川彰一
編集は初めての委員も第2号では創刊号の経験を生かし会議にも熱が入った。

新年度に入り行事も多く、視察の報告もあるので、この議会だよりを通して、市民に理解が得られるように努力したい。